

[C部会 発表要旨]

研修主事を核とした校内での「学び合い文化の醸成」に向けて

岐阜県総合教育センター
課長補佐 坂下 航太

I はじめに

岐阜県では、令和5年度より各公立学校に研修主事を配置し、各校での研修の活性化に向け「学び合い文化の醸成」を推進している。

岐阜県教育委員会（以下、県教委）教育研修課では、研修主事を対象とした研修や小学校・中学校・義務教育学校（以下、小・中・義）における研修主事サポート出前講座、高等学校・特別支援学校（以下、高・特）における学校訪問時の研修主事との面談を通して、研修主事が各学校の実態に合わせた「学び合い文化の醸成」を推進できるよう支援してきた。また、校内研修に使える予算を支援してほしいという要望に応えるため、研修主事等を中心としたグループが行う公務内の研修又は研究に対して補助金を支援する「自ら学び続ける教職員研修支援事業」も実施している。本発表では、それらの取組について報告する。

II 取組概要

1 研修主事研修

教育研修課が作成した「校内研修の手引き」を基に、研修主事の役割や校内研修を充実させるための手立て等を理解する研修を実施している（4・5月）。また、下記2、4の実践校の事例を基にしながら、日常的な校内での学び合い文化を醸成するための手立てを交流し合う研修も実施している。（10月・11月）

2 研修主事サポート出前講座（小・中・義）

各校の実態や要望に応じて、指導主事が学校に出向き、研修主事のサポートを目的とした出前講座を実施している。令和6年度は県内2校（小1、中1）、令和7年度は県内2校（小2）に対し、各校の実態を踏まえながら、効果的な校内研修の在り方を研修主事と共に考える伴走型研修を年間通して実施している。

3 学校訪問時の研修主事との面談（高・特）

県教委による学校訪問（基本訪問・要請訪問）に帯同し、各校の研修主事との面談の機会を得て、校内研修の在り方について聴取及び助言をしている。令和6年度は県内22校（高17、特5）を訪問した。

4 自ら学び続ける教職員研修支援事業

学校教育計画（小・中・義）や校内研修計画（高・特）等に即した公務内の活動において、外部講師の招聘や教職員の他校の視察に要する経費に対し、最大10万円を支援する。令和6年度は、計12校（小3、中1、高4、特4）に支援した。令和7年度は計10校（小3、中1、高3、特3）に対して支援している。

III 成果と今後の方向

研修主事を支援したり、学校訪問したりすることを通して、次年度の研修主事への支援の方向性を考えるのに役立っている。今後は、「学び合い文化の醸成」や「研修主事としての役割」について、より具体的な姿をイメージできるよう働きかけながら、協働的な職場環境づくりを推進していきたい。